

第17回地域発「活力・発展・安心」デザイン実践交流会

学校と地域の連携・協働による「チーム学校」の実現

～ふるさと学習で育てる生徒の自尊感情と持続可能な地域
連携体制の構築をめざして～

中津市立本耶馬溪中学校 校長 小川邦夫

本日のお話

- 1 地域・学校の現状
- 2 実践の概要
- 3 成果と課題

1 地域・学校の現状

中津市立本耶馬溪中学校

全校生徒44名 4学級（特別支援学級1）

職員15名:管理職2名・教諭、臨時講師7名・養護教諭1名・栄養教諭1名
学習補助員1名・学校支援員1名・学校用務員1名・図書館司書1名

〈地域の様子〉

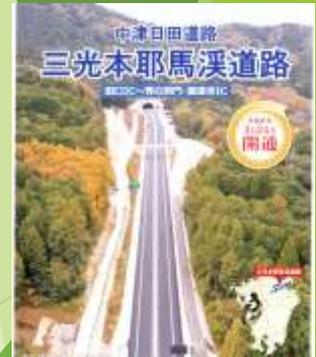
- 「青の洞門」「羅漢寺」等、歴史的文化財が多く、自然豊かな地域である。
- 少子高齢化が進み、地域のつながりも薄れつつある。

〈生徒の様子〉

- 明るく素直な生徒が多いが、学力の個人差が大きく、支援を要する生徒が増えている。
- 自己肯定感、自己有用感が低い。

〈保護者の様子〉

- 経済的に厳しい家庭が多い。
- 学校に寄せる期待は大きい。



1 地域・学校の現状

【学校教育目標】

地域を愛し 心豊かでたくましく
ともに学ぼうとする生徒の育成

【めざす学校の姿】

地域に愛され地域に求められる学校

【育成をめざす資質・能力】

人間関係形成能力

〈報告内容〉

ふるさとを愛する生徒の育成を図るための**学校体制づくり**と地域の教育資源を活用した**カリキュラム・マネジメント**に取り組んだ内容を報告する。



2 実践の概要

(1) 取組の視点

- ① 地域社会と連携した、「ふるさとを愛する生徒の育成」を図るための学校体制づくり
- ② 地域の教育資源を活用したカリキュラム・マネジメントのあり方
- ③ 学校運営協議会や「協育」ネットワーク会議と連携して取り組んだ地域とともにある学校づくり

2 実践の概要

(2) これまでの経緯と取組の方向性

① 総合的な学習の時間の課題

- 体験活動を実施することに主眼が置かれていた。
- ふるさと学習と教科学習の位置づけ。行事の精選。実施方法の見直し。教員や生徒の多忙感の解消。

② 手だて

- 校長のリーダーシップを発揮する。
- 地域人材を活用した形で総合的な学習の時間を核に教科等横断的にカリキュラムを編成する。
- 学校運営協議会（CS会議）や「協育」ネットワーク会議で学校の課題や目指す生徒像を共有する。

2 実践の概要

(3) 体制づくり

① 校内の体制づくり

- ・ 学校評価の4点セットの活用
- ・ 目標管理の面談の活用

② 地域とともにある学校体制づくり

- ・ 学校運営協議会、校区ネットワーク会議
青少年健全育成会議で協力要請

③ 卒業生による応援体制づくり

- ・ 卒業生のネットワークづくり

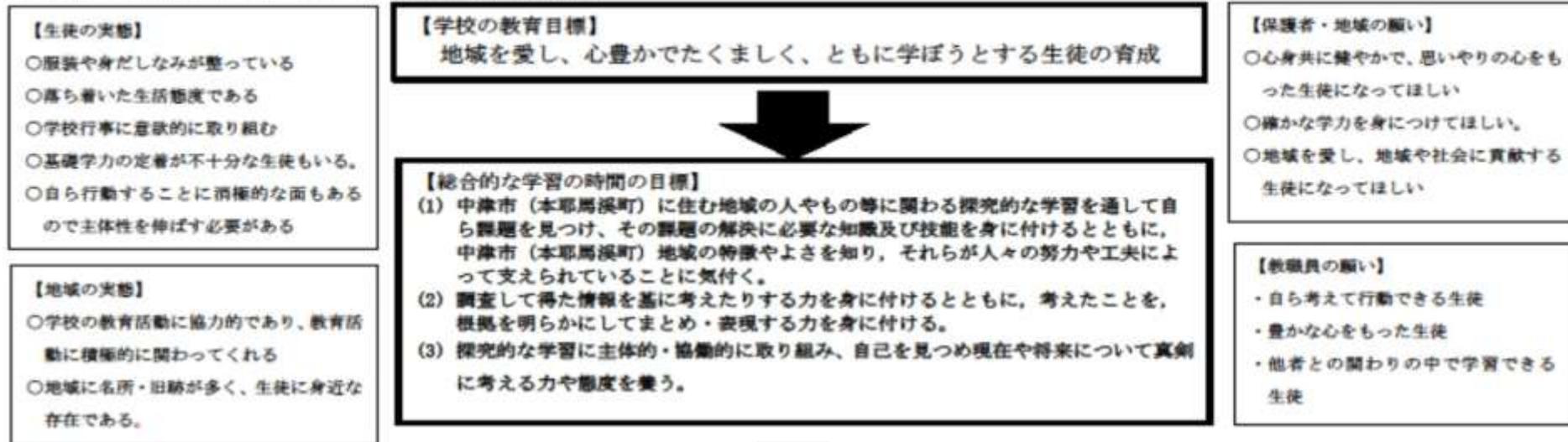
自己肯定感の育成と課題対応力の向上	学校	○総合的な学習に地域人材を活用することで成功体験を積み重ね、学びに向かう態度の育成を図る。	○地域人材を活用した学習を年間6回以上(学期に2回以上)実施する。
		○外部関係機関との連携による生徒の課題克服の支援を行う。	○外部関係機関と連携してケース会議等を定期的で開催する。 ○毎月1回運営委員会の前にSC参加のいじめ不登校対策委員会を行う。
	家庭地域	○地域の子どもは地域で育てるという考えを広げ実践する。	○学校、地域で行う行事や授業に積極的に参加し、本耶馬溪の伝統や文化を生徒に伝える。



2 実践の概要

(4) カリキュラムの見直し

令和5年度 本耶馬溪中学校 総合的な学習の時間 全体計画



【内容】

時数	第1学年（50時間）	第2学年（70時間）	第3学年（70時間）
全校テーマ	地域とともにある学校づくり		
学年テーマ	地域を知る	地域に学び発信する	地域の未来を考える
探究課題	地域の自然環境、産業やそれに関わる人々について知る	地域の産業やそれに関わる人々について、深く学び、その良さを発信する。	町づくりや地域活性化のために、どう取り組んでいくか考える
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色をつかむ。 ・地域の産業、食や特産物について調べる。 ・地域に出かけて、直接地域の産業、食や特産物について話を聴く。情報をまとめる。 ・収集した様々な情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の活動をもとに、さらに体験活動を通して地域の資源（人、もの）を深く学ぶ。 ・体験活動や、直接地域の方から話を聴くこと等を通して、地域の情報を多面的にとらえ、考えを具体化するなど探究の過程に応じた技能を身に付けている。 ・地域の特色を行事の中で、具体的にわかりや 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次までの活動をもとに、町づくりや地域活性化の取組に関わる人々の思いや願いを理解し、自分たちの考えをまとめる。 ・地域の特色を発信する（HP、ケーブルテレビ等） ・情報を構造化する、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。

2024年度 年間単元指導計画(本耶馬溪中学校)

教科/月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
国語	1 豊かに読解する 文が 書き グループディスカッション	2 わかりやすく伝える 「教科的に読む」とは 読者の文化 読解作文 漢字の仕組み	3 ものの良方・価値を切り 取るの世界 漢字十帖 批評文 書意 私の読書体験 漢字を意に付けよう	4 論理的に考える フロンティアの体験 「リテラシー」スピーキング	5 古典に学ぶ 和歌の世界 万葉集・古 今和歌集・新古今和歌集 おののこを漢 言葉の良 漢字	6 想像を興起づける 漢語の想像を興起づけて 考えをまとめる 想像社会を生きる 広島の読み比べ ポストリー 文法の章	7 読みを深め合う 朗読 言葉の良 漢字	8 読解を広げる 「文庫の伝説」の時代 おっちゃん 言葉 中学校生活を送りながら			
書写	身の回りの文字の目的と工夫		平書体文字の特徴		書き手の意図と表現		読みにつながる文字の役割	書き初めをしよう	思いの文字で表そう		
社会	歴史		現代(戦争)二重の世界大戦と口説								
	公民			持続可能な社会の構築 現代社会と私たち、導入	現代社会と私たち ①②③まとめ 個人の尊重と日本国憲法	個人の尊重と日本国憲法 ①②③まとめ	現代の民主政治と社会 ①②③まとめ	私たちの暮らしと経済 ①②	私たちの暮らしと経済 ③④⑤まとめ	地球社会と私たち ①②③	
数学	文字式を使って計算しよう	数の世界をさらにひろげよう	方程式を利用して問題を解決しよう	関数の世界をひろげよう			形に注目して図形の性質を調べよう	円の性質を見つけて証明しよう	三平方の定理を活用しよう	直線全体の傾向を推測しよう	
理科	基礎知識		単元2 生命のつながり	単元3 自然世界のつながり	単元4 化学変化とエネルギー	単元5 物質と宇宙	単元6 地球の暮らしと未来のために				
総合	地域の資源(魅力、特徴)をもち、地域の将来について考えよう。70時間										
特活	特別活動 ネオソウの準備	体育大会	進路学習 大学訪問	親子ふれあい 平和授業体験	地域貢献プロジェクト	社会見学	グリーン本郷 本郷	平和授業	百人一首大会 結成受け取り	平和授業 メモリアル発表	
道徳	風になつライオン 銀メダルから得たもの 出迎え三歩、見送り七歩	絆と夢を結び糸 卒業文集最後の二行 さうだよ、後者	命のトランジットピザ エリカー電線の中のらー ある高校生 あるレジ売場の女性	No Charibout a Chenof 新しい夏のはじまり	「教科書の山」の巻 書き手のように 読者の山	二通の手紙 空の懐の 電車の中で 自分・相手・周りの人	大つた笑顔を取り戻す 「誰」のある暮らし 風車回廊 翼のドナー	PS 前編で読解を出したい 父は読者	本とペンで世界を愛しよう 道のすび 町内会デビュー	一冊のノート サトシの一言 世界を動かした言葉	
外国語	1 Bento Are Interesting! world web	Steps Good Night, Sleep Tight	Power up 3 A Hot Spot Topic Steps	4 Slip Laps, Not Kip Laps! Power up	Power up Steps 5 The Story of Chocolate	Steps world web 6 The Great Pacific Garbage Patch	Steps Power up 7 Is A Friend or an Enemy?	world web			
音楽	1 音楽の楽しさを伝える、 音楽の楽しさを伝える	2 音楽の楽しさを伝える、 音楽の楽しさを伝える	3 音楽の楽しさを伝える、 音楽の楽しさを伝える	4 音楽の楽しさを伝える、 音楽の楽しさを伝える	5 音楽の楽しさを伝える、 音楽の楽しさを伝える	6 音楽の楽しさを伝える、 音楽の楽しさを伝える	7 音楽の楽しさを伝える、 音楽の楽しさを伝える	8 音楽の楽しさを伝える、 音楽の楽しさを伝える	9 音楽の楽しさを伝える、 音楽の楽しさを伝える	10 音楽の楽しさを伝える、 音楽の楽しさを伝える	
美術	わかりやすく情報を伝える	環境とともに生きる彫刻	アートも、明日への願い	あれ？どうなっているの	心安らぐ場所をつくる	地域の魅力を伝える	今の自分、これからの自分	美術の力をつくろう！			
技術	C 生活者の技術 生活を豊かにしよう		D 生活者の技術 生活を豊かにしよう								

2 実践の概要

(5) 令和3年、令和4年の取組

〈令和3年〉



〈令和4年〉



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

① 地域貢献プロジェクト

・インタビュー活動【地域の課題を探る】

インタビュー活動



自分達で考えた意見を提案



- ・バルンバルンの森
 - ・平原茶屋
 - ・本耶馬溪支所
- などにインタビューへ

2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

① 地域貢献プロジェクト【縦割り活動】

・ フォトプロップスづくり

フォトプロップスの箱作り



ノコギリやトンカチ
を使って制作



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

① 地域貢献プロジェクト 【縦割り活動】

・石ころアートづくり



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

- ① 地域貢献プロジェクト **【縦割り活動】**
・ 観光CMづくり



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

① 地域貢献プロジェクト【縦割り活動】

- ・サイクリング休憩所の清掃、装飾づくり



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

② 清掃活動「クリーン本耶馬溪」 【縦割り活動】



CS委員や保護者、地域の方の参加

2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

③ 地域資源、地域人材を活用した教育活動

〈本耶馬溪支所地域振興課によるネモフィラ栽培や
その後のフォトコンテストに参加〉



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

③ 地域資源、地域人材を活用した教育活動

〈本耶馬溪商工会による観光どんとで「耶馬溪ばやし」を披露



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

③ 地域資源、地域人材を活用した教育活動

〈中津市教育委員会社会教育課による諭吉検定に参加〉



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

③ 地域資源、地域人材を活用した教育活動

〈観光ボランティアガイドによる競秀峰登山ガイドと地域フィールドワーク〉



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

③ 地域資源、地域人材を活用した教育活動

〈商工会女性部・津軽三味線奏者による「耶馬溪ばやし」の継承〉



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

③ 地域資源、地域人材を活用した教育活動 〈中津ケーブルネットによるCMづくり指導〉



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

③ 地域資源、地域人材を活用した教育活動

〈社会福祉協議会を通して高齢者に食材の提供〉

〈令和5年度〉

〈令和6年度〉



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

③ 地域資源、地域人材を活用した教育活動 〈国土交通省による開通イベントへ参加〉

〈令和5年度〉



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

③ 地域資源、地域人材を活用した教育活動

・ 職業人講話「ようこそ先輩」 〈令和6年〉



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した授業づくり

③ 地域資源、地域人材を活用した教育活動

地域食材を使った食育〈令和6年〉

- ・ 別府溝部学園短期大学との連携授業



2 実践の概要

(6) 地域力を活用した学力向上対策

③ 地域人材を活用した教育活動

学習塾「禅海塾」の立ち上げ

「協育」ネットワーク会議の活用 〈令和6年〉



2 実践の概要

(7) 教育活動の成果を発信する

- ① 「学びのOut Put」を位置づけた授業づくり
単元計画に学習の成果を発信する活動を位置づける。



学びの成果を発表したり、外部団体のコンクール等に積極的に出品したりする。



感謝される。ほめられる。コンクールに入賞する。



自尊心が向上する。

2 実践の概要

(7) 教育活動の成果を発信する

② 様々な成果発表の機会を利用する。

〈地域フィールドワーク〉 → 修学旅行 P R 活動へ 〈令和5年度〉



JR京都駅

2 実践の概要

(7) 教育活動の成果を発信する

② 様々な成果発表の機会を利用する。

〈地域フィールドワーク〉 → 修学旅行 P R 活動へ

〈令和6年度〉



JR京都駅



2 実践の概要

(7) 教育活動の成果を発信する

② 様々な成果発表の機会を利用する。

大分っ子「未来創造プロジェクト」実践交流会〈令和5年度〉



2 実践の概要

(7) 教育活動の成果を発信する

② 様々な成果発表の機会を利用する。

一人一台端末プレゼンテーションコンテスト〈令和5年度〉



2 実践の概要

(7) 教育活動の成果を発信する

② 様々な成果発表の機会を利用する。学校給食レシピコンクール

〈令和6年度〉

地域食材を使った給食レシピ

つくってみよう おおいたの給食!
学校給食レシピコンクール
入賞作品

小学生の部 中学・高校生の部

最優秀賞

<p>大分県学校栄養士研究会会長賞 かわいくておいしい! ぶた肉の醤ソース</p>	<p>大分県学校給食会理事長賞 大分のおいしい うまみと香りを</p>	<p>大分県学校栄養士研究会会長賞 新ごぼうの 肴の唐揚げ 中津市立本耶馬溪中学校3年 永田 陽暉</p>	<p>大分県学校給食会理事長賞 サバとカラフル野菜の かぼす和え 中津市立東中津中学校3年 早 遥香</p>
<p>大分県学校給食会理事長賞 うめっちゃしいたけ 中津市立本耶馬溪中学校2年 上野 結如</p>	<p>大分県学校給食会理事長賞 はもの野菜たっぷり あんかけカボスぞえ 中津市立本耶馬溪中学校2年 浅田 悠輝</p>	<p>大分県学校給食会理事長賞 大分の美味しい ロコモコ井風 別府市立中部中学校2年 古屋 結愛</p>	<p>大分県学校給食会理事長賞 お茶が香るサッパリ ハモの天ぷら 中津市立本耶馬溪中学校3年 浅田 愛美</p>
<p>大分県立由布支援学校 大分県産ハンバーグ 中学部3年2班</p>	<p>大分県立由布支援学校 野菜たっぷりハモの南蛮漬け 中津市立本耶馬溪中学校2年 坂 陽斗</p>		
<p>大分県立由布支援学校 ハンバーグの梅ソース 中津市立本耶馬溪中学校1年 早 遥香</p>	<p>大分県立由布支援学校 揚げそばの中華風甘酢あんかけ 中津市立本耶馬溪中学校2年 浅田 悠輝</p>	<p>大分県立由布支援学校 夏におすすめ! さっぱりヘルシー 青じそ子キン 大分市立碩田学園8年 浅田 悠輝</p>	<p>大分県立由布支援学校 とり天あんかけ 中津市立東中津中学校3年 藤石 梨央奈</p>
<p>大分県立由布支援学校 ニラチャブチ 中学部3年1班</p>	<p>大分県立由布支援学校 OITAKENSAN トリ天 OG(オリジナル)カレー、あおのり 大分県立由布支援学校 中学部3年3班</p>		

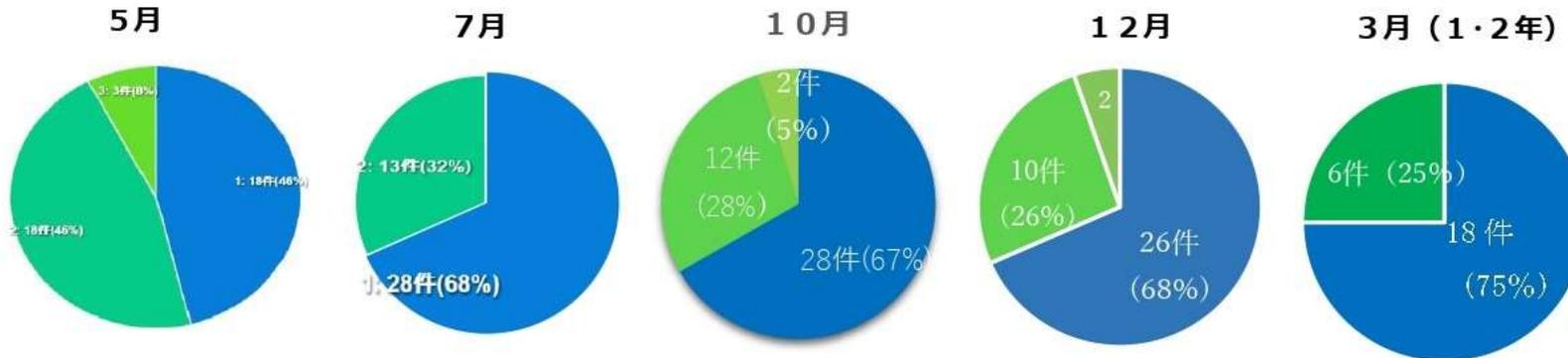


3 成果と課題

(1) 成果

① 生徒評価の結果 〈令和5年度〉

地域のことを学ぶことで、本耶馬溪が好きになった



学校は楽しい。



3 成果と課題

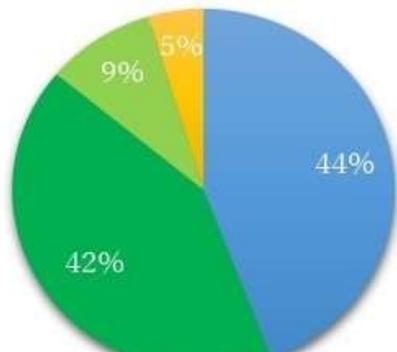
(1) 成果

① 生徒評価の結果

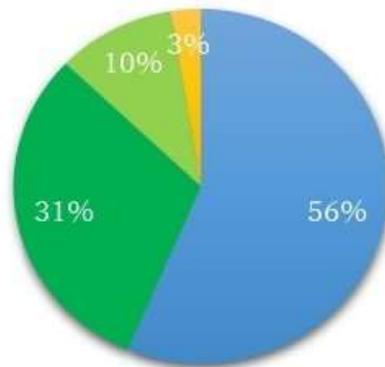
〈令和6年度〉

地域のことを学ぶことで、本耶馬溪が好きになった。

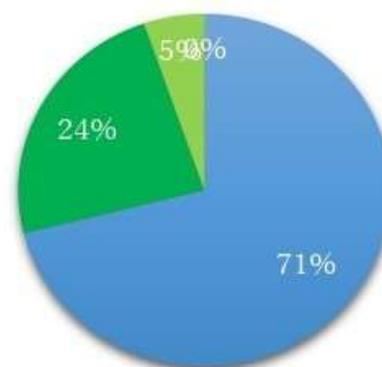
5月



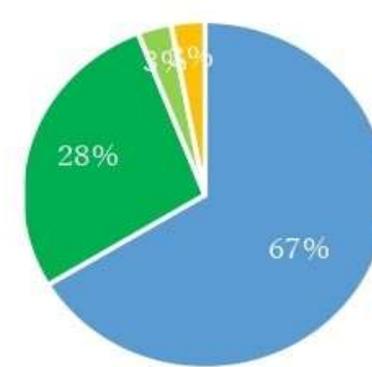
7月



10月

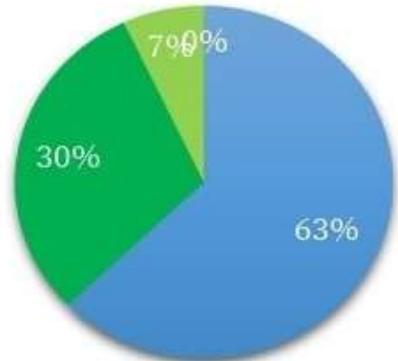


12月

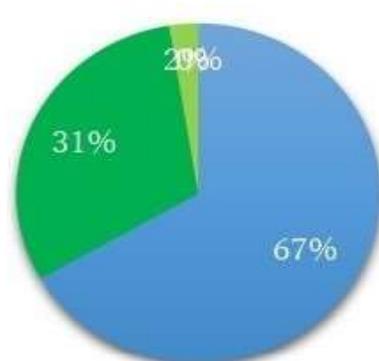


学校は楽しい。

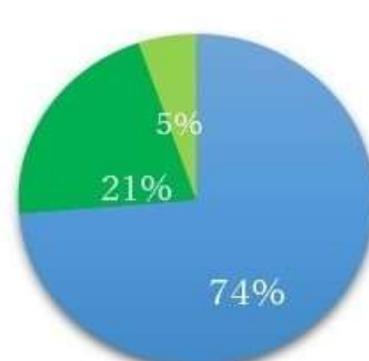
5月



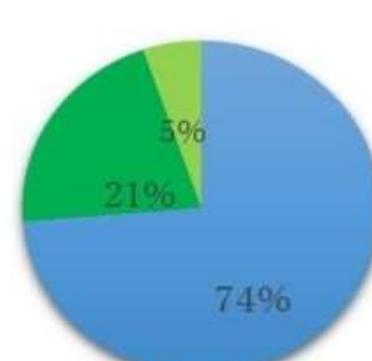
7月



10月



12月



3 成果と課題

(1) 成果

② 総合的な学習の時間に**縦割りの活動**を入れることで、課題を発見し、整理・分析を行うことができた。

検証・改善を行い、**次年度の活動につなげる**ことができている。

3 成果と課題

(1) 成果

③ 学校運営協議会や「協育」ネットワーク会議、健全育成会議と連携することで、教育活動に協力してくれる地域の方、卒業生が増えた。教員の働き方改革にもつながっている。



3 成果と課題

(2) 課題 **校長としての学校マネジメント**

- ① 探究的な学習活動を推進する教員の育成と不断のカリキュラム・マネジメントが求められる。
- ② 活動に必要な予算を獲得するために、地域（企業）や行政と密接な連携が必要である。
- ③ 教員として成長できる職場づくりをすすめる。

おわりに

学校には自由になる「人」「もの」「金」が不足しているが、地域社会には多様なステークホルダーが多数存在している。それらと上手くつながり、Win- Winの関係を築き、学校の教育活動に巻き込んでいくことを意識して昨年度より学校経営を行ってきた。

校長のリーダーシップやマネジメント力、コーディネータ力が重要だと感じている。

今後は3校合同のコミュニティスクールや本耶馬溪町「協育」ネットワーク会議を核にして、「社会に開かれた教育課程」を通じて、家庭や地域と持続的に連携・協働する体制を構築していきたい。

ご清聴ありがとうございました



地域のよさを生かして地域の活性化に貢献

事業所・団体プロフィール

名称: 中津市立本耶馬溪中学校
住所: 中津市本耶馬溪町跡田212番地
代表者: 校長 小川 邦夫

関係する県の施策

子どもの力と意欲を伸ばす
キャリア教育の推進事業
「大分っ子『未来創造プロジェクト』」

具体的な取組

本耶馬溪町は、青の洞門や羅漢寺など歴史ある観光名所があり、春には青いネモフィラが咲き誇る。一方で、人口減少や高齢化、空き家の増加が進んでいる現状がある。そこで、町を活性化するにはどのような取組が必要なのかを考え、本耶馬溪支所や地域の商工会女性部などと連携しながら、全校生徒で地域貢献活動に取り組んでいる。

【特徴】

- 地域でのインタビューで集めた意見やフィールドワークで再発見した地域のよさから、自分達にできることを地域とともに考え、地域に貢献する活動を実施。
- ネモフィラ栽培、写真撮影用のフォトプロップス作成、休憩所の清掃、石ころアート・観光地紹介CMの作成と道の駅での展示・放映、やばけいばやしの継承活動を実施。



関連するSDGs

